学校番号	１２０１

令和　５年度　情報科

教科	情報	科目	ワープロ実務	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	日本語ワープロ検定試験　模擬問題集２・準２級編（日本情報処理検定協会） プレゼンテーション作成検定試験 模擬問題集３・４級編（日本情報処理検定協会） 情報処理技能表計算検定試験　模擬問題集３・４級編（日本情報処理検定協会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

検定取得を目標にワープロソフトと表計算ソフトの習得をめざす。

２　学習の到達目標

・ＷｏｒｄとＥｘｃｅｌ、ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔの基礎的な知識や技術を習得する。
・授業で学んだ方法を理解し適切な場面で活かすことができる。
・主体的に年に２回ある検定試験を受験し、４級及び上位級を取得しようとする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・タッチメソッドの基礎を習得し活用している。 ・課題を解決する為の適切で正確な技能を身につけている。	・授業で学んだ方法を理解し適切な場面で活かすことができる。 ・学んだ知識や技能を応用し、問題を解決のための適切な方法を考えることができる。	・主体的にｏｆｆｉｃｅを活用するよう学習している。 ・授業で学んだ知識・技術を積極的に活用し、より効果的に問題解決を行うための方法を考えている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ワープロ	コンピュータの基礎 ワープロソフト	a:コンピュータに興味を持ち積的に活用している。 b:学んだ知識を自分で考え判断し思考している。 c:ワープロソフトの標準的な機能を習得している。 d:問題を解決するための知識が十分にある。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技能判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察 授業態度 質疑応答
2学期	表計算	表計算ソフト プレゼンテーションソフト	a:表計算ソフト・プレゼンテーションソフトに興味をもち、積極的に活用しようとしている。 b:学んだ知識を自分で考え判断し自分で応用できている。 c:関数を用いた計算などを習得し活用できている。 d:問題を解決するための知識が十分にある。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技能判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察 (個別指導含む) 授業態度 質疑応答
3学期	発展演習	ワープロソフト・表計算ソフトの発展演習	a:学習内容に興味をもち、積極的に活用しようとしている。 b:学んだ知識を自分で考え判断し自分で応用できている。 c:学習した機能を習得し活用できている。 d:問題を解決するための知識が十分にある。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技能判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察(個別指導含む) 授業態度 質疑応答

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度